

深都建計第 47 号
平成20年10月14日

国土交通省 道路局長 様

深川市長 山下 貴史
(建設水道部都市建設課)



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け国道企第37号をもって依頼のありました標記について、下記のとおり提出いたしますので、よろしくお願いいたします。

記

1 提出書類

- ① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など
- ② -1 地域の現状と抱える課題
- ② -2 地域の目指すべき将来像
- ③ 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

問合せ先 深川市建設水道部都市建設課 課長 堀川正樹
電話 01642-26-2304(内線301)

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

北海道深川市

1. 高齢者にやさしい道路整備

高齢化社会を向かえ、高齢者の道路利用が増大している。高齢者等が社会・経済活動に参加することが今後の経済・社会の発展に不可欠であることから、誰もが安全で安心して参加できる社会を形成することが主要な課題となっている。このような中、平成12年に「交通バリアフリー法」が公布、施行され、深川市においても歩道整備を実施する際、「交通バリアフリー法」に則り整備を実施しているが、道路整備の指標として歩道整備だけではなく、高齢者等を意識した施策が必要である。

例えば 道路の線形改良、狭隘な幅員の道路、橋梁整備、高齢者ドライバー等の交通安全上の見地から注意を一層喚起するような対策など

2. 地域格差に配慮した道路整備

地方においては、公共交通機関が発達していない地域が存在する。そのような地域は必然的に人の移動・物資の輸送などは自動車交通に依存している実態であり、道路は、市民生活や経済・社会活動を支える最も基礎的な社会基盤施設である。北海道の中でも豪雪・極寒地域の深川市は、冬期間の交通確保＝除排雪は必要不可欠であり、除排雪対策費の確保が重要である。地域格差に配慮した施策が必要である。

例えば 幹線道路ネットワークの早期整備、地方の裁量により整備が実施できる制度の充実、地域格差に配慮した一般交付税・道路特定財源の算定、交通量に左右されない整備の制度化、補助率・交付金率の引き上げなど

3. 景観に配慮した道路整備

地域の個性溢れるまちづくりを実施し、都市再生を効率的に推進することにより、地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を図ることは重要な課題である。近年環境や景観への意識が高まっており、フランス、ドイツなどでは電線類の地中化が進んでおり美しい景観が図られている状況であり、道路整備においてもこの視点に沿った整備が必要である。

例えば 電線地中化及び歩道の舗装・路盤、縁石も含めたグレードアップに対応した制度の充実また手続きの簡素化など

4. 高齢化する道路・橋梁の適切な維持管理と計画的な整備

今後、道路構造物の耐用年数のピークが重複してくる事を想定した場合、早期の対応で長寿命化を図るなど、戦略的に管理していくことは重要な事と認識しており、これらの対応には財源の支援も必要である。

例えば 橋梁長寿命化修繕計画策定及び橋梁整備に対する交付金等の充実、橋梁点検、台帳整備に対する財源支援など

②－１ 地域の現状と抱える課題

北海道深川市

○現状

深川市が管理する道路は、平成 20 年 4 月 1 日現在、835 路線、実延長 698km となっており、内、313km (45.4%) が未舗装道路であります。道路整備は、①道路ネットワークとしての重要度、②交通量（歩行者含む）、③道路の老朽化、④合併前の旧町村などの地域ニーズを総合的に判断し進めており、具体的な手法として、国庫補助事業、起債事業を中心に整備可能な手法を選択し事業推進を図っている。

深川市が管理する橋梁は、285 橋あり、内、49 橋が BOX カルバート構造でそれ以外は橋梁として管理している。橋梁の整備等については、道路整備等と併せて随時架け替えを実施している。

積雪寒冷地帯においては、冬期の道路交通確保は生活の安心と円滑な経済活動のために必要不可欠であり、深川市の除排雪事業の状況は、除雪総延長が 560 路線 390km (56.4%)、歩道除雪延長が 41 路線 51km、排雪延長が 332 路線 91km となっている。

○課題

深川市は安全で快適な生活ができるまちづくりを目指しており、道路、橋梁整備（維持を含む）は大変重要かつ不可欠であり、市民からは道路、橋梁整備に関する数多くの要望がある。しかし、昨今厳しい財政状況の中、投資効果の高い事業を重点的に実施することによる事業の効率性、コストの縮減、事業効果や必要性の評価、透明性の向上などが強く求められており、従来に増して効果的・効率的に道路、橋梁整備を進めていく必要がある。

橋令 25 年以上の橋が 188 橋 (66%) あり老朽化が進行しているため、中長期的な視点から「橋梁長寿命化修繕計画」を平成 25 年度までに策定予定とし、橋梁の点検、台帳等の整備が急務となっている。

除排雪業務の費用については、年々増加している。深川市における地方譲与税等の道路財源と除排雪業務の費用がほぼ同じであり、この道路財源は大変貴重な財源である。また、国庫補助事業、地方道路交付金事業で実施する路線もあり、深川市の財政状況を熟慮すると補助率・交付率の引き上げと併せて、現行の道路財源確保が必要不可欠である。

②－２ 地域の目指すべき将来像

北海道深川市

国は、新しい日本の姿の実現に向けて、社会、経済の構造改革を進めており、国全体としては、一時、景気が穏やかに拡大していると言われているが、その一方で、都市と地方との不均衡や地域格差が拡大している。

このような状況の中で、市町村は、住民に最も身近な総合的な行政主体として、高度化、多様化する住民ニーズに的確に応え、地域の振興を図るとともに、地方分権改革や少子高齢化の進展、広域的な行政需要の拡大、国・地方を通じた厳しい財政状況などを背景に、行財政基盤の強化や効率的な行政体制の構築が求められている。

深川市では、人口の減少や長引く景気の低迷などに伴う市税収入の伸び悩み、「国の三位一体の改革」による地方交付税の縮減などによって、今後も強力に歳出の抑制、削減を継続しなければならないほど財政が逼迫している状況にあるが、同時に、地域の資源を十分に活用しながら、地域産業の振興、中心市街地の活性化などに取組み、元気なまちを取り戻すことが重要な課題となっており、課題解決に向け道路施策は重要な要素となっている。

１．幹線道路ネットワークの整備及び高速道路料金の低額化

深川市を中心とした北空知圏は、道内有数の食料生産基地として、生産拠点から消費地までのアクセスとして輸送経路・時間を考慮しなければならないし、地域医療の課題として、北空知圏域の中核をなすセンター病院がある深川市において、高度な医療施設をもつ地域センター病院がある札幌市・旭川市への救急搬送の利用頻度も高く、移動時間の短縮を図る必要がある。また、高速道路による輸送経路を利用したいが、生産コスト全般に跳ね返ることもあり、頻繁に利用しづらい環境でもある。高速道路の利用促進と地域経済の活性化の効果もあり、料金の低額化を望む。

２．安心・安全を確保するための道路施策

道路利用者にとって、安全で安心な道路整備は当然のことである。特に、冬期交通環境を考慮した道路整備、維持や除排雪など道路の管理などは豪雪地域の深川市としては快適な生活する上で重要である。また、今後老朽化を迎える橋梁などの維持更新費用の増大が見込まれる。そのために必要な財源の充実を望む。

３．コンパクトなまちづくり

中心市街地の活性化に向けての道路整備は、景観・環境を重視した整備が必要であり、地方の裁量により整備が実施できる制度化を望む。

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

○重点事項 地域活力の向上 快適性、利便性の向上 交通安全対策	○代表事例 国道１２号の４車線化 主要道道旭川深川線の４車線化 国道２７５号の線形改良、拡幅	○期待する効果や評価等 本路線は、札幌市と旭川市を結ぶ重要幹線道路であり、本市においても近隣都市を結ぶ路線として経済振興、地域医療はもとより市民生活に大きな役割を果たしている。近年の交通量の増大更には併走している北海道縦貫自動車道の通行止めの際の交通渋滞等を緩和するためにも効果は大である。 本路線は、深川市街の国道２３３号から国道１２号を結ぶ主要道路として、また、国道１２号のバイパス的路線として位置づけられており、近年の交通量の増大に伴い交通事故も増加傾向にある。近隣都市旭川への幹線道路であり、国道１２号の整備、同様、経済振興、地域医療などに対する効果は大である。 本路線は、深川市を南北に縦貫し、道央・道北を結ぶ重要な道路として位置づけられており、道路幅員が狭隘で急カーブ、急勾配の箇所も多いため平成８年度よりトンネル整	○その他
---	--	--	-------------

	一般道道深川多度志線の線形改良、拡幅	備も含め改良が進められている。また、北海道縦貫自動車道や深川留萌自動車道の供用により、道北圏の一次産品を運ぶ大型車両の交通量は増加傾向にあり、さらに JR 深名線の廃止により代替バス路線となったことに伴い抜本的交通対策としての整備を実施してきている。経済効果はもとより安全対策に対して効果は大である。 本路線は、国道 275 号と主要道道深川雨竜線を結ぶ道路であり、道路幅員が狭隘で急カーブ、急勾配の箇所が多く危険な状況となっており整備を実施しているところである。国道 275 号に接続している道路でもあり、期待する効果や評価等は国道 275 号の整備と同様である。	
--	---------------------------	---	--